

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調査

担当課 市民病院総務企画課

事業名	病院事業会計①(医療体制の充実関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(1)市民病院を核とした医療体制の充実

事業の内容 事業費	事業概要	5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)及び在宅医療に取り組むとともに、5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)に対する安定した医療提供に努める。				対象	地域住民
					手段	現診療体制の維持	
					目的	安定した医療提供	
	会計	0	病院事業会計	款		項	目
	年度		財源内訳(千円)				事業費計(千円)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	R1	計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
		当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
		決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198
		具体的取組内容					
	計画	・病院群輪番制当番医の実施(年間183日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間366日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績	・病院群輪番制当番医の実施:年間183日 ・大川地区小児夜間急病診察室の実施:年間366日 ・地域包括ケア病棟の稼働率:84.6%		
R2	計画額	5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786	
	当初予算額	5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919	
	決算額	749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809	
	具体的取組内容						
	計画	・病院群輪番制当番医の実施(年間183日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間365日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績	・病院群輪番制当番医の実施:年間182日 ・大川地区小児夜間急病診察室の実施:年間365日 ・地域包括ケア病棟の稼働率:84.7%		
R3	計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013	
	当初予算額	1,247	14,700	4,571,240	648,872	5,236,059	
	決算額	1,049,827	18,500	3,522,161	648,872	5,239,360	
	具体的取組内容						
	計画	・病院群輪番制当番医の実施(年間182日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間365日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績	・病院群輪番制当番医の実施:年間183日 ・大川地区小児夜間急病診察室の実施:年間365日 ・地域包括ケア病棟の稼働率:81.4%		
R4	計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438	
	当初予算額	1,247	90,800	4,801,643	578,495	5,472,185	
	決算額	984,690	81,000	3,717,892	578,495	5,362,077	
	具体的取組内容						
	計画	・病院群輪番制当番医の実施(年間182日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間365日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績	・病院群輪番制当番医の実施:年間182日 ・大川地区小児夜間急病診察室の実施:年間365日 ・地域包括ケア病棟の稼働率:86.8%		

事業名	病院事業会計①(医療体制の充実関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(1)市民病院を核とした医療体制の充実

上段:計画値 下段:実績値

総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4	
指標データ	1 入院患者数	成果	人	54,900	54,750	54,750	54,750	
				49,643	46,478	44,929	42,099	
	2 入院患者率(市民)	成果	%	72.1	72.1	72.1	72.1	
				72.0	72.5	72.2	67.0	
	3 外来患者数	成果	人	124,560	126,117	125,598	126,117	
				113,114	103,029	110,835	112,754	
	4 外来患者率(市民)	成果	%	69.9	69.9	69.9	69.9	
				70.7	70.5	70.3	69.9	
	5 患者紹介率	成果	%	34.5	34.5	34.5	34.5	
				25.2	29.2	25.4	22.9	
	総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	さぬき市及び東かがわ市における病院群輪番 制当番医実施日数	活動	日	183	183	182	182
		休日・時間外における広域行政からの救急患者の受 入体制を整備した日数			183	183	182	182
	2	小児夜間急病診察室診療日数	活動	日	366	365	365	365
		小児を対象とした時間外診療の実施日数			366	365	365	365
	3	救急患者応需率	成果	%	80.0	80.0	80.0	80.0
		広域行政から救急搬送の受入要請があった際の応需 率			62.1	67.9	62.5	55.5
	4	小児夜間急病診察室取扱患者数	成果	人	2,000	2,000	2,000	2,000
		小児夜間急病診察室で診察を行った患者数			1,848	612	845	850

事業名	病院事業会計①(医療体制の充実関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(1)市民病院を核とした医療体制の充実

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとられない政策・組織間連携を試みているか。	○	4		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	○	4		

改善	改善の必要性	「公平性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	<p>評価理由</p> <p>地域住民が安心して生活できるよう、大川二次医療圏域における病院群輪番制の当番病院を1年のうち半数担当するとともに、大川地区小児夜間急病診察室を365日毎日開室し、救急医療を提供している。</p> <p>解決すべき課題と改善策</p> <p>人口減少による患者数の減少とともに、コロナ感染症患者の対応等に伴い、入院患者数は減少傾向にある。その一方で、救急患者の受入れ件数は増加傾向にあるものの、それを上回る要請件数の増加から、救急応需率は低下する結果となった。一層の救急医療提供体制の拡充が求められるが、これに対応した医師数の獲得が困難な状況にある。</p>		
	所属長意見	<p>救急医療提供体制の充実、地域住民の医療ニーズとして最も高いものであり、安心して日々を過ごすためには不可欠なものと認識する。限られた医療資源を最大限に活用し、現状を維持していけるよう努めていきたいと考える。</p>		

事業名	病院事業会計②(地域医療連携関係)
-----	-------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(2)地域医療の連携推進

事業概要	地域医療の連携推進を図るため、近隣の開業医等との協議会の開催や総合支援室が窓口となって、情報交換を定期的かつ継続的に実施するとともに、行政をはじめとした福祉関係機関同士との連携強化により、地域包括ケアシステムの構築を目指す。 ※事業費再掲				対象	近隣の開業医、行政をはじめとした福祉関係機関等
					手段	協議会の開催等
				目的	地域包括ケアシステムの構築	
会計	0	病院事業会計	款	項	目	
年度	財源内訳(千円)					事業費計(千円)
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
R1	計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
	当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
	決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198
	具体的取組内容					
計画	・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化			実績	・糖尿病診療を考える会 開催回数:3回、参加人数:114人	
R2	計画額	5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786
	当初予算額	5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919
	決算額	749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809
	具体的取組内容					
計画	・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化			実績	・糖尿病診療を考える会 開催回数:1回、参加人数:30人	
R3	計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013
	当初予算額	1,247	14,700	4,571,240	648,872	5,236,059
	決算額	1,049,827	18,500	3,522,161	648,872	5,239,360
	具体的取組内容					
計画	・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化			実績	・糖尿病診療を考える会 開催回数:0回、参加人数:0人	
R4	計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438
	当初予算額	1,247	90,800	4,801,643	578,495	5,472,185
	決算額	984,690	81,000	3,717,892	578,495	5,362,077
	具体的取組内容					
計画	・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化			実績	・糖尿病診療を考える会 開催回数:0回、参加人数:0人	

事業名	病院事業会計②(地域医療連携関係)
-----	-------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(2)地域医療の連携推進

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	入院患者数	成果	人	54,900 49,643	54,750 46,478	54,750 44,929	54,750 42,099
2	入院患者率(市民)	成果	%	72.1 72.0	72.1 72.5	72.1 72.2	72.1 67.0	
3	外来患者数	成果	人	124,560 113,114	126,117 103,029	125,598 110,835	126,117 112,754	
4	外来患者率(市民)	成果	%	69.9 70.7	69.9 70.5	69.9 70.3	69.9 69.9	
5	患者紹介率	成果	%	34.5 25.2	34.5 29.2	34.5 25.4	34.5 22.9	
総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4	
1	糖尿病診療を考える会開催回数	活動	日	6	6	6	6	
	さぬき市民病院が主催する医療勉強会の開催回数			3	1	0	0	
2	糖尿病診療を考える会延参加人数	成果	人	450	450	450	450	
	さぬき市民病院が主催する医療勉強会の実施に伴って参加した延人数			114	30	0	0	

事業名	病院事業会計②(地域医療連携関係)
-----	-------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(2)地域医療の連携推進

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出しているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	△	2		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	△	2		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	△	2		

改善	改善の必要性	「効率性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の保健・医療・福祉を担う機関と連携強化を目的とした意見交換等をこれまで積極的に行ってきたが、令和2年度以降、コロナ感染拡大の影響により開催ができていない。 解決すべき課題と改善策 コロナ禍が終息すれば、従前と同様に、地域の保健、医療及び福祉を担う機関と、定期的に意見交換等を行う場を持ち、地域包括ケアシステムの維持及び拡充に向けた協働を推進していく。		
	所属長意見	事業の位置付けを踏まえた総括 コロナ禍にあったため、地域の医療機関との意見交換会は開催できていない。コロナ感染症にある一定の目途が立ち、社会が平常を取り戻した際には、従前どおり定期的な開催に努めたいと考える。また、オンラインによる会合を取り入れるなど効率かつ効果的な運用も検討していく予定である。		

事業名	病院事業会計③(人的資源の確保関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(3)人的資源の安定的な確保と活用

事業概要	医療の質を維持・向上する上で欠かせないのが専門的な知識を有する人材の安定的な確保と基本理念に基づいた活用である。特に、医師の確保は、病院運営の重要な鍵となることから、適正人員を獲得するため、近隣の大学病院に対する積極的な働き掛けや民間企業からの斡旋、ホームページ等広報媒体を利用した公募活動とともに、必要に応じて、寄附講座の開設も視野に入れた求人活動に努める。 ※事業費再掲		対象	近隣の大学病院等			
			手段	医師派遣に対する積極的な働き掛けや寄附講座の開設			
		目的	医師をはじめとする医療スタッフの安定的な確保				
会計	0	病院事業会計	款		項	目	
年度	財源内訳(千円)					事業費計(千円)	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
R1	計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434	
	当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434	
	決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198	
	具体的取組内容						
計画		・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績			・産婦人科医師を確保するため、香川大学医学部と寄附講座の開設について協議したが、令和元年度においては必要ないと判断し、開設を見送ることとした。
R2	計画額	5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786	
	当初予算額	5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919	
	決算額	749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809	
	具体的取組内容						
計画		・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績			・関連大学への医師派遣に対する積極的な働き掛けにより、産婦人科医師1名が着任している。
R3	計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013	
	当初予算額	1,247	14,700	4,571,240	648,872	5,236,059	
	決算額	1,049,827	18,500	3,522,161	648,872	5,239,360	
	具体的取組内容						
計画		・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績			・関連大学への医師派遣に対する積極的な働き掛けにより、産婦人科医師1名を確保している。
R4	計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438	
	当初予算額	1,247	90,800	4,801,643	578,495	5,472,185	
	決算額	984,690	81,000	3,717,892	578,495	5,362,077	
	具体的取組内容						
計画		・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績			・関連大学への医師派遣に対する積極的な働き掛けによって、年間を通じて、常勤の産婦人科医1名を確保することができた。また、これに伴い、院内助産が安定的に運営でき、年間66件の分娩を提供した。

事業の内容

事業費

事業名	病院事業会計③(人的資源の確保関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(3)人的資源の安定的な確保と活用

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	入院患者数	成果	人	54,900 49,643	54,750 46,478	54,750 44,929	54,750 42,099
2	入院患者率(市民)	成果	%	72.1 72.0	72.1 72.5	72.1 72.2	72.1 67.0	
3	外来患者数	成果	人	124,560 113,114	126,117 103,029	125,598 110,835	126,117 112,754	
4	外来患者率(市民)	成果	%	69.9 70.7	69.9 70.5	69.9 70.3	69.9 69.9	
5	患者紹介率	成果	%	34.5 25.2	34.5 29.2	34.5 25.4	34.5 22.9	
総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4	
1	産婦人科医を確保するために連携の強化を図る大学数	活動	校	1	1	1	1	
	近隣の大学数			1	1	1	1	
2	産婦人科医数	成果	人	1	1	1	1	
	分べんを取り扱うに当たり必要な最低医師数			0	1	1	1	



事業名	病院事業会計③(人的資源の確保関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(3)人的資源の安定的な確保と活用

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	○	4		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	○	4		

改善	改善の必要性	「公平性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続	
	担当者意見	<p>評価理由</p> <p>慢性的な医師不足に伴い、政策的医療の継続的な提供が苦慮される中で、前年度に引き続き、常勤の産婦人科医を年間を通して確保することができ、入院、外来を問わず、一定の医療提供が行えた。また、院内助産の継続的な運営にも大きく貢献しており、継続して分娩を取り扱うことができた。</p> <p>解決すべき課題と改善策</p> <p>地域偏在や特定の診療科における医師不足は未だ解消されておらず、今後も安定して医師を確保することが困難であることに変わりはないが、引き続き、近隣の大学病院との連携強化に努める必要がある。</p>			
	所属長意見	<p>事業の位置付けを踏まえた総括</p> <p>地域の医師については、働き方改革といった新たな制度の導入とともに、地域偏在や研修医制度のあり方によって、今後も確保が困難な状況が継続することが想定されるが、近隣の大学病院や自治医科大学等と密に連携を図りながら安定した医師確保に努めたいと考える。</p>			

事業名	病院事業会計④(地域に開かれた病院関係)
-----	----------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(4)地域に開かれた病院づくり

事業の内容	事業概要	地域住民への健康に関する啓発活動等の一環として実施している市民公開講座や健康出前講座、和やかな雰囲気の中で市民病院の有する医療資源や医療機能を紹介する病院フェスティバルを通じて、市民病院が市民に親しまれ、安心して医療を享受できる「開かれた病院」となるよう努める。 ※事業費再掲		対象	地域住民				
				手段	健康講座等の実施				
				目的	地域に根ざした医療の提供				
	会計	0	病院事業会計	款		項		目	
	年度	財源内訳(千円)						事業費計(千円)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
	R1	計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434		
		当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434		
		決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198		
		具体的取組内容							
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座の開催 開催回数:1回、参加人数:134人</li> <li>健康出前講座の開催 開催回数:19回、参加人数:612人</li> <li>さぬき市民病院フェスティバル 開催回数:1回、参加人数:252人</li> </ul>				
R2	計画額	5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786			
	当初予算額	5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919			
	決算額	749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809			
	具体的取組内容								
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座、健康出前講座及びさぬき市民病院フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止</li> </ul>				
R3	計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013			
	当初予算額	1,247	14,700	4,571,240	648,872	5,236,059			
	決算額	1,049,827	18,500	3,522,161	648,872	5,239,360			
	具体的取組内容								
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座、健康出前講座及びさぬき市民病院フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止</li> </ul>				
R4	計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438			
	当初予算額	1,247	90,800	4,801,643	578,495	5,472,185			
	決算額	984,690	81,000	3,717,892	578,495	5,362,077			
	具体的取組内容								
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座、健康出前講座及びさぬき市民病院フェスティバルについては、コロナ感染症拡大防止のため開催を中止した。</li> </ul>				

事業名	病院事業会計④(地域に開かれた病院関係)
-----	----------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(4)地域に開かれた病院づくり

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	入院患者数	成果	人	54,900 49,643	54,750 46,478	54,750 44,929	54,750 42,099
2	入院患者率(市民)	成果	%	72.1 72.0	72.1 72.5	72.1 72.2	72.1 67.0	
3	外来患者数	成果	人	124,560 113,114	126,117 103,029	125,598 110,835	126,117 112,754	
4	外来患者率(市民)	成果	%	69.9 70.7	69.9 70.5	69.9 70.3	69.9 69.9	
5	患者紹介率	成果	%	34.5 25.2	34.5 29.2	34.5 25.4	34.5 22.9	
総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4	
1	市民公開講座等の実施回数	活動	回	27	27	27	27	
	市民公開講座及び健康出前講座の実施回数			20	0	0	0	
2	市民公開講座等の延参加人数	成果	人	850	850	850	850	
	市民公開講座及び健康出前講座の実施に伴って参加した延人数			746	0	0	0	

事業名	病院事業会計④(地域に開かれた病院関係)
-----	----------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(4)地域に開かれた病院づくり

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出しているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	○	4		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	△	2		

改善	改善の必要性	「公平性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由 前年度同様に、令和4年度についてもコロナ感染症の感染拡大防止のため、住民が集まる集会を取りやめた。 解決すべき課題と改善策 コロナ感染症の疾病やその治療方法が徐々に解明され、取扱いも緩和されつつあるが、動向を注視し、適切なタイミングで従前のような啓発活動を再開し、地域住民に対する健康増進に貢献していく。		
	所属長意見	事業の位置付けを踏まえた総括 各種健康講座については、コロナ禍のため、今年度も開催を見合わせた。健康に対する啓発活動とともに、開かれた病院を目指す観点から、この取組は重要であると認識しており、今後も住民ニーズに合わせながら、徐々にではあるが、活動を再開していきたいと考える。		

事業名	津田診療所事業
-----	---------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(5)診療所の継続的な運営

事業概要	地域の身近な公的1次医療機関として、さぬき市民病院等との連携を図りながら、より充実した医療を提供する。保健活動や介護予防活動にも努め、地域に密着した診療所としての役割を担う。		対象	地域住民		
			手段	地域医療連携 専門性を生かした医療の提供		
		目的		広域的な患者の確保及び診療所の健全で安定的な運用		
会計	52	津田診療所事業特別会計	款		項	目
年度	財源内訳(千円)					事業費計(千円)
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
R1	計画額	0	0	109,700	300	110,000
	当初予算額	0	0	109,700	300	110,000
	決算額	0	0	102,125	0	102,125
	具体的取組内容					
計画	診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。「リハビリ教室」、「健康教室」を実施する。			実績	さぬき市民病院から副院長(内科医師)を所長として迎え、さぬき市民病院との連携を強化するとともに、所長の専門性(糖尿病等)を生かして地域住民の重症化予防を推進した。 「リハビリ教室」「健康教室」等を継続して開催し、地域に根差した予防医療や保健活動を行った。	
R2	計画額	0	0	104,700	300	105,000
	当初予算額	0	0	108,700	300	109,000
	決算額	1,700	0	97,090	2,100	100,890
	具体的取組内容					
計画	診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。「リハビリ教室」、「健康教室」を実施する。			実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の感染症緊急包括支援事業を活用し、施設内の整備を行った。また、発熱患者の対応のため、県の指定を受け抗原検査を実施する体制を整えた。 感染症拡大防止のため、リハビリ教室、健康教室等を中止した。	
R3	計画額	0	0	104,700	300	105,000
	当初予算額	0	0	124,700	300	125,000
	決算額	11,975	0	105,697	0	117,672
	具体的取組内容					
計画	診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。「リハビリ教室」、「健康教室」を実施する。			実績	前年度に引き続き、発熱患者の対応のため、新型コロナウイルス抗原検査を実施した。 感染症拡大防止及び重症化防止に資するため、コロナワクチン接種を実施した。 感染症拡大防止のため、リハビリ教室、健康教室等を中止した。	
R4	計画額	0	0	104,700	300	105,000
	当初予算額	3,030	0	110,263	5,907	119,200
	決算額	4,628	0	102,238	19,420	126,286
	具体的取組内容					
計画	診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。			実績	新型コロナウイルス感染症の流行が拡大する中、感染症の早期発見と治療に資するため、抗原検査を実施した。 感染症の拡大予防の観点からコロナワクチン接種を積極的に実施した。	

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課	津田診療所
-----	-------

事業名	津田診療所事業
-----	---------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(5)診療所の継続的な運営

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1							
2								
1	総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	利用患者延数		活動	人	15,550	15,000	15,000	15,000
	診療所を利用する患者数				15,344	13,880	13,508	12,677
2	診療報酬		成果	千円	110,000	105,000	105,000	105,000
	診療所の収入(外来収入+受託事業収入)				100,760	96,677	111,109	109,516

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	△	3		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	○	4		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	○	4		

改善	改善の必要性	「有効性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由		
		新型コロナウイルス感染症流行が拡大する中、感染症対策として、発熱外来を引き続き実施するとともに、コロナワクチン接種を積極的に実施した。		
所属長意見	解決すべき課題と改善策			
	コロナ感染症に対する地域住民の不安に対応するため、抗原検査を実施し早期発見に努めるとともに、コロナワクチン接種に積極的に取り組んでいるものの、マンパワーの限界から十分な実施ができていない。			
事業の位置付けを踏まえた総括				
公立診療所として、感染症医療の提供にも積極的に取り組み、地域住民が安全・安心に受診できる環境を整える。				